令和元年度 第１回 公共調達監視委員会議事録

日　　時　令和元年６月 26 日(水)　14:00～15:00
会　　場　山下庁舎第２会議室

出席委員
　　采女　博文(鹿児島大学名誉教授)
　　大脇　通孝(弁護士)
　　森　征一郎(税理士)

１　開会

２　総務課長あいさつ

３　委員長選出
　采女委員を委員長に選出

４　審査等
　物品・役務等の競争入札7件、随意契約1件について、会計第一係長及び会計第二係長より説明

以下、質疑応答

物品・役務等の競争入札

※会計第一係長より資料説明

【整理番号 2】鹿児島労働局雇用環境・均等室外 8 官署における複合機の購入及び保守点検業務
　委員）予定価格と契約金額の差が大きいが、業者が入札金額を誤って応札したということはないか。
　回答）業者からはそういう話は聞いていないので、それはないと思う。2 年ほど前にも複合機の入札があったが、その際も落札率は 40%ほどだった。複合機の場合、その後のランニングコストも見越して落札率が低くなる傾向があると考える。
　委員）保守契約まで含んだ契約か。
　回答）年度末までの保守契約も含んでいる。次年度は局内にある同じメーカーの複合機と合わせて保守契約を行っている。

【整理番号 4】平成 30 年度若年層を中心とした求職開拓事業
　委員）再委託はないのか。
　回答）業者からの承認申請はなく、再委託はない。
　委員）承認申請が出ていないだけではないのか。確認はしているのか。

回答）承認申請がないのは契約違反である。最終的に実施状況報告が提出されるので、それをもとに原課が確認している。

【整理番号 5】鹿児島労働局における非常用備品の購入
委員）賞味期限は決めているのか。
回答）品物にもよるが、今回の保存食は 5 年である。年数が長くなれば高価になるので 5 年のものを調達した。
委員）非常用備品としては毛布などもあると思うが、買い直すのか。
回答）買い直すのは、期限付きの保存食・水・医薬品ぐらいである。
委員）開札結果一覧を見ると、辞退という業者があるがなぜか。
回答）入札説明書を交付していた業者だったが、電子入札で金額の登録がなかった。当該業者に確認したところ、辞退の意思表示とのことだった。電子入札システム上では業者名が残るため、開札結果一覧にも業者名を記載した。

※会計第二係長より資料説明

【整理番号 1】鹿児島障害者職業能力開発校における事務機器類購入
委員）無効になった者もいるが、どういう理由で無効になったのか。
回答）入札書、入札積算内訳書の単価・数量・相場等の欠如、誤り等があるものは無効としており、入札積算内訳書の提出がなかったので無効とした。

物品・役務等の随意契約

※会計第二係長より資料説明

【整理番号 1】川内労働基準監督署における自動車の購入
委員）一旦は一般競争入札を実施したが応札がなかったということか。
回答）そうである。業者に声掛けも行ったが、年度末の繁忙時期等でもあり、結果として応札がなかった。その後、随意契約による見積書の提出は可能という業者があったため、法的にも問題なかったことから、随意契約による調達に切り替えた。
委員）3 者から見積もりを取っているが、鹿児島ダイハツが落札となったのはなぜか。
回答）仕様を満たすものの中で、最低価格だったため落札となった。

5 案件の承認
全案件について、委員からの異議はなく、すべて承認された。
なお、次回の公共調達監視委員会については、11月頃開催する予定であることを委員へ伝達した。

6 閉会